機能ID	機能名称			機能要件	実装区分			適合基準日
	大分類	中分類	小分類		指定都市	中核市	一般市区町村	
0040177	8 標準オプション機能	8.1 本人通知	8.1.1　登録管理	登録期間が満了する者について、本人通知期間満了のお知らせを出力できること。	○	○	○	－
0040178	8 標準オプション機能	8.1 本人通知	8.1.1　登録管理	対象の証明書は、窓口で交付した「戸籍の附票の写し」及び「戸籍の附票の除票の写し」とし、証明書を発行する際に、交付記録として交付年月日時・交付請求者区分（本人、代理人、第三者）・証明書の種別・枚数の記録（登録）ができること。 また、証明書発行後に修正（交付請求者の選択誤りを修正）ができること。	○	○	○	－
0040179	8 標準オプション機能	8.1 本人通知	8.1.2　画面表示	「本人通知」の事前登録者の戸籍の附票の写し等が交付される際、画面確認できること。	○	○	○	－
0040180	8 標準オプション機能	8.1 本人通知	8.1.3　通知書出力	証明書発行履歴を基に本人宛て又は申請者宛ての戸籍の附票の写し等の交付通知書（発行日・請求者区分・証明書種別・枚数）を出力できること。 なお、出力条件として、「本人通知の事前登録者への交付」、「本人通知の事前登録者への交付（申請者が本人の交付記録は除く。）」、「事前登録に関わらず申請者情報（第三者への交付や委任状による交付）による判定」が選択できること。	○	○	○	－
0040181	9 バッチ	9.1　他システムとの連携を除くバッチ処理	―	バッチ処理の実行（起動）方法として、直接起動だけでなく、年月日及び時分、毎日、毎週〇曜日、毎月XX日、毎月末を指定した方法（スケジュール管理による起動）が提供されること。スケジュール管理にソフトウェア製品を利用する場合は名称、メーカー、バージョン等について、発注者からの要求があった場合、提示すること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040182	9 バッチ	9.1　他システムとの連携を除くバッチ処理	―	バッチ処理の実行時は、前回処理時に設定したパラメータが参照されること。前回設定のパラメータは、一部修正ができること。修正箇所については、修正した旨が判別し易くなっていること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040183	9 バッチ	9.1　他システムとの連携を除くバッチ処理	―	全てのバッチ処理の実行結果（処理内容、処理結果、処理時間、処理端末名、正常又は異常の旨、異常終了した際はOSやミドルウェア等から出力されるエラーコード等）が出力されること。また、異常終了した場合の警告を戸籍附票システム内又は自治体が別途利用する他の通報システムに連携できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040184	9 バッチ	9.1　他システムとの連携を除くバッチ処理	―	例えば6.1（統計）で記載した統計についてバッチの実行結果から一連の作業で最終的な提出物をXLSX形式等で作成する場合等には、自動実行する仕組みを用意すること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040185	9 バッチ	9.2　抑止対象者	―	抑止対象者一覧を作成できること。また、抑止の種類等による抽出、項目による並べ替えができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040186	9 バッチ	9.2　抑止対象者	―	指定都市においては、一覧表は行政区単位で分割できること。	◎	―	―	令和8年4月1日
0040187	9 バッチ	9.2　抑止対象者	―	一覧表を支所単位で分割できること。	○	○	○	－